

平成31年(令和元)度 学 校 自 己 評 価 表 (当初計画)

学校運営方針

目指す生徒像

どんな困難に直面しても、高い志を持って信念を貫き、純真さを失わず、社会貢献の大切さを忘れない生徒。

目指す学校像

・生徒が誇りに思う学校  
・地域に信頼され、地域から愛される学校  
・教職員が学校課題を共有し、よりよい学校作りに共働する学校

今年度の重点目標

- ① 豊かな人間性の育成
- ② 「確かな学力」の育成
- ③ 進路指導の充実
- ④ 部活動等の充実
- ⑤ 社会への貢献活動の推進
- ⑥ 入学者数の確保

評価基準 A:概ね達成 (80%程度以上) B:変化の兆し (60%程度) C:まだ不十分 (40%程度) D:方策の見直し (30%以下)

評価項目	目指す姿	現状	具体的方策	評 価 結 果		
				経過・達成状況	評価	改善方策
① 豊かな人間性の育成	学校生活全体を通して、誰にも優しく、親切で、礼儀正しく、思慮深い生徒を育成する。	○礼儀正しく、さわやかに挨拶ができる生徒が多い。 ○素直さがあり、明るくさわやかで、話を聴く姿勢が良い。 ○自尊心が低かったり、特別支援が必要な生徒がいる。 ○1学年あたりの生徒数が多くないこともあり、教員の目が行き届いており、生徒自身も自分の存在を認められていると認識しているものが多い。	○教員自らが率先して生徒への声かけを行う。 ○進路相談も含め、生徒1人1人の心情をより深く把握できるよう、カウンセリングマインドを高める。 ○生徒に話をする際、要点を把握しやすい心がける。 ○生徒の良いところを積極的に褒めるよう心がけ、自己肯定感を高める。			
② 「確かな学力」の育成	授業改革により生徒の「考える力」を高め、進路実現に向けた確かな学力を養成する。	○プロジェクトや視聴覚教材の利用を取り入れながら、わかりやすい授業を目指した工夫がされている。 ○クラスの中で生徒の学力の差が大きく、基礎学力の定着が不十分な生徒が多い。学びなおしが必要。 ○出題範囲の広い外部模試で得点が取得できていない。	○積極的に授業公開を実施し、他の教員からの感想なども参考にしながら指導法の工夫改善を図る。 ○生徒1人1人の学力実態を把握し、到達目標を設定し、適切な教材・指導法を工夫しながら、確実に学力を引き上げる。 ○他校の先進的な取り組みから学ぶなど、教員1人1人が具体的な対応策を企画実施する。その際、自己評価も行う。			
③ 進路指導の充実	生徒一人一人の能力・適性などに配慮した個別指導を徹底し、進路希望を実現させる。	○一般入試で大学合格を果たせる実力をつけ切れていない。○自己分析ができていないのか、自分のことを他者に表現できない生徒がいる。 ○志望理由がきちんと書けない生徒がいる。	○個人面談を実施し、職業観、進路観を育成させる。 ○この生徒の状況を、担任、副担任だけでなく、学年団、クラブ顧問との情報共有を図る。 ○ガイダンスや講演会を実施し、進路意識を高めていく。 ○進路学習などを通して、自己分析を行うとともに、進路に対し主体的に取り組む力を育成する。 ○クラッシュなどを利用し、家庭学習の充実を図る。			
④ 部活動等の充実	部活動等を通して、自主性や向上心、忍耐力、協調性、責任感、連帯感などを育成する。	○挨拶がしっかりとできている。 ○部活に加入する生徒は増えてきているが継続できていない生徒がいる。 ○部活動と学校生活が結びついていない生徒がいる。	○部活動へ加入を奨励し、活発な活動を展開する。 ○礼儀・マナー・整理整頓の大切さを伝える。 ○他者への敬意・思いやり・仲間意識・優しさ・チャレンジすることの大切さ、より良い人間関係を築くことを体感させる。			
⑤ 社会への貢献活動の推進	社会貢献の意義を学び、主体的に行動できるよう、ボランティア活動等に取り組む。	○他者を思いやり気配りのできる生徒が多い。 ○部活動で募金活動、ボランティア、施設慰問、地域イベントに積極的に参加している。 ○ボランティアに参加している生徒が固定化している。	○ボランティア募集を各クラスに掲示し、積極的にボランティア活動に参加するよう教員や生徒会役員から呼びかけを行う。 ○ボランティア活動等を通して、社会と交流し自己の在り方生き方を考えさせる。			
⑥ 入学者数の確保	学校の魅力づくりと情報発信等により、入学志願者の増加に努める。	○入学者が定員を満たしていない。 今年度の入学者数は104名。 ○生徒数増減の要因分析が行われていない。 ○特色ある教育の実施、施設の充実状況は下記のとおり。 ・特別進学コース0限授業、7限演習。 ・高校生レストランの実施など調理料の充実。 ・第一体育館、第二体育館、柔道場の改修。 ・寮の改修。	① 学校の教育力向上とPR。 ② 適正な目標設定と進捗管理並びに募集方法の見直しを行う。 ・過去の生徒数推移について分析する。 ・各部活動又は各コースの生徒募集目標を設定する。 ・特色あるコース・科及び類型を活かした生徒募集を行う。 ・学校説明会を工夫改善する。 ・オープンスクールを工夫改善する。 ・生徒募集に対する研修を行う。(成功事例発表・ロールプレイング) ・進捗状況を管理し、対策を更新する。 ③ 本校の魅力発信を行う。 ・本校の誇れる教育活動の記録を徹底する。 ・HPをリアルタイムで更新する。 ・パンフレット紙面の魅力化に努め、本校のブランドカアップを図る。 ・生徒の地域活動を積極的に推進する。 ・マスコミを積極的に活用する。			